

## <速報> 古紙・アルミ缶さらに続落・在庫急増！

＝再生資源リサイクルにご協力頂く市民の皆様へ＝

日頃、市民の皆様には再生資源リサイクル事業にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年後半から荒れ狂っている世界同時不況は止むことを知らず、再生資源の国際需給も完全に冷え込み、国内においても価格暴落や入荷制限などの事態がさらに強まっています。そのため地域自治体のご指導のもとに、市民の皆様と続けてきた集団回収や行政回収などにも大きな影響が現われて参りました。ここに取り急ぎ速報として現在の状況をお知らせ申し上げます。

- 古紙は、昨年10月から輸出価格暴落や輸出成約激減となり、また、国内製紙メーカー各社も2～4割の入荷制限とたび重なる購入価格の値下げを断行してきました。そのため古紙問屋も大量の在庫を抱え、赤字輸出などの厳しい対応を強いられており、回収業者に対する仕入価格値下げも一段と厳しくなっています。
- 非鉄金属スクラップも殆どが高値時より3分の1以下に下落して予断を許さない状況にありますが、特にアルミスクラップは自動車産業の減産の影響が著しく世界中に在庫が溢れ、市中回収アルミ缶（バラ）に至っては価格が出せないほどの厳しい市況になってきました。
- 鉄スクラップは、昨年後半暴落しましたが、その後発生量も激減したため何とか価格の下落が収まりつつあり、現在低位ながらも、強含み基調に推移しております。  
しかしスチール缶などに代表される下級鉄スクラップ類は、まだ厳しい状況にあります。

このように再生資源の価格破壊がさらに続けば、長年にわたって培ってきた再生資源リサイクル事業全体が非常事態の状況に陥ることも十分に懸念されます。日資連といたしましてもこの窮状に細心の注意を払い、関係機関に善後策の対応を急ぐよう運動して参ります。

市民の皆様には、取引価格の時価変更をはじめとして色々にご迷惑をおかけすることになると思いますが、何卒、現状をご賢察の上ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年1月

日本再生資源事業協同組合連合会

東京都千代田区三崎町2-21-1

東京資源会館5階

TEL：03-3263-9101

